

共産制から資本制まで

生産方法變遷の歴史的觀察

三 奴隸制の出現

然るに奴隸制は如何なる形式のでも必然に共産制を終滅せしめるものであつた。蓋し奴隸制は最も古い財産制の一つで、其の最初は一個人に屬するよりも寧ろ一種族全體に屬したものであるらしい。例へば、或る強大な種族が捕虜を得た時、其の捕虜が牧畜若しくは其他の勞役に於いて、生活費以上の物を産出し得る場合には、直ぐに彼等を料理して食ふよりも、或は又慰みに彼等を屠殺するよりも、彼等を奴隸として飼ふ方が遙かに利益である。故に奴隸制は一つの明白な社會的進歩であつて、今日の權力階級が偽善な方法で人間を私有財産にしてゐるのに比べると、人間を體のまゝ奴隸にする此の制度は誠に驚くべく恐るべき者の様に思はれかも知れないが、實は社會變遷の永い連鎖の中に於ける必然の一階段であつた。エンゲルスが明示した通り、若し世に奴隸制が無かつたならば、埃及、アッシリヤ、カルデアの學問智識もなく、アデンの藝術もなく、ローマの法制もなかつたであらう。されば奴隸制は一切の大明の、及び古代の謂ゆる民主政治の經濟的基礎であつた。然しそれら一切の文明の歴史は、昔の氏族制及び共産制の發滅が如何に困難であつたかを示してゐる。

此の奴隸制と共に富は急速力を以て個人の中に集積された。個人間の交換は團體的交換に代り個々の使用品としての私有財産は、商品として賣買さるべき一列の生産物となつた。其後に於ける變遷の秘密は總てこゝに存してゐる。生産者が自己の生産物を使用し、及び同業と共にそれを享樂する事が止み、他の生産物と交換する爲にそれを手放す事になると同時に、彼等は自己の生産物を直接に支配すべき權力を失つて了つた。彼等はもはや生産物の成行を決定する事も出来ず、甚だしきは其の成行を知る事も出来なくなつた。そして斯様にして彼等の手を離れた生産物が、却つて彼等生産者を掠奪し壓伏する機關となつた。

交換の爲に貨物を生産する事が始まると同時に、個人の利殖の爲に土地を耕作する事も始まり、直ぐそれに續いて土地の個人的私有が起つた。土地の個人的私有が本式の規則となつた以前に、共有地を個人的利殖の爲に耕作する事が行はれてゐたらしく見える證據は幾らもある。又交換の爲にする個人的生産が發達すると同時に、交換の媒介たる普遍的商品として貨幣なる者が現はれた。此の貨幣なる者は實に經濟的及び社會的の一新勢力であつて、人間が初めてそれを發明した時には、後にそれが厭應なく人間を壓迫する大支配力を持たうなごゝは、夢にも思ひかけなかつたのである。彼等は貨幣の社會的意義を十分に會得する事は出来なかつたが、それでも彼等は直ぐに、苦い經驗に依つて、其の普遍的なる、至らざる所なき威力を覺り、全社會が止むなく其の王位の前に拜伏せねばならぬ事を知つて來た。殊に古代文明の中心たる大都市に於いては、此の金力は常に最も殘忍暴戾なる發現を爲し、其の人民の意思感情に對しては徹崖の頓着もなく、常に甚しく彼等を驅使し